

薬剤部長職場放浪記

第8回



主任 T: 日本病院薬剤師会東北ブロック学術大会でシンポジストの依頼を受けたのですが、引受けていいですか。折角参加するので、ポスター発表しようと思うのですが。

部 長: 是非、引受けて！ポスター発表も良いじゃない。私もホームページの取組みについて、ポスター発表しようかな♪今後の業務も考慮するとうちで使えそうな機器を見てくるのもいいしなあ。今回の会場はどこかな？

副部長: 秋田市です。私も参加しようと思っています。今後、若手が発表するにあたって、若手も連れていこうかなと！他施設の薬剤師がどんなテーマで演題発表しているか雰囲気を感じてもらいたいのです♪

部 長: いいね♪ところで、うちの教育体制はOJT（On the Job Training）だったよね！

副部長: 目安となる簡単な教育カリキュラムは作成してありますが、OJT ですね！実際の現場で経験を積みながら、先輩薬剤師が豊かな経験を生かして、若手に知識やスキルを計画的に教えています。また、教育期間は個々の成長レベルに配慮しています。次の段階へのステップは、月1回実施されている主任会議で担当主任から議題として挙げられ評価検討して、最終的に部内会議で承認となります。

主任 T: うちの配属して6か月後には、当直、休日勤務に組込まれていくので。セントラル業務を1人で対応できるのが最初の目標ですね。もちろん経験不足で対応に困った時も、サポート体制はできています。この状況にどのような対応できるかという面は、かなり大きな部分になります。



薬剤部ホームページ



薬剤部関連情報

部 長: がん連携支援と二次救急を行う医療機関という特徴から、うちは薬剤師としてはジェネラリストでありながら、様々な領域での専門性も必要とされる。専門領域の資格取得、学会等での発表を経験させていくことも教育となっていくんだろうな。そのためには、先輩が手本を示していかないといけないことを再認識させられるなあ。

部 長: 主任の感染領域で当薬剤部から体重当たりの適正用量を推進した学術的な内容と私のホームページでの広報活動に間する内容のポスター発表であるが、主任と違い内容部分を必死にどや顔でマウントを取ろうとアピールしている感じがちょっと恥ずかしいかも。



つづく！

東北ブロック学術大会ポスター展示会場にて